


## 介護ロボット導入報告書

施設名	土岐市老人保健施設やすらぎ
施設の種別	介護老人保健施設
住所地	土岐市土岐津町土岐口 703-24

## 1 導入したロボットについて

ロボット名称	超音波・赤外線コール
介護の種類	移乗介護 移動支援 排せつ支援 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">見守り</span> 入浴支援
ロボットの写真	 <p style="text-align: center;">無線中継ボックス コードレス超音波・赤外線センサー</p> <p>*ロボットの形状が分かる写真をお願いします。</p>

2 使用状況

<p>使用状況</p>	 <p>無線中継ボックス</p> <p>コードレス超音波・赤外線センサー</p> <p>※実際にベッドや居室に整備した場面について、写真を添付してください。ホームページに掲載しますので、プライバシーの保護に十分配慮してください。</p>
<p>介護ロボットが使用された場面</p>	<p>○ロボット使用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用開始日：平成30年8月17日</li> <li>・令和元年4月1日～令和2年3月31日までの使用回数：365回</li> <li>・ロボット（センサー）反応による職員行動回数：約3,600回</li> </ul> <p>・認知症棟の居室で使用、部分介助が必要な方が行動を起こす前にセンサーが鳴り、転倒などのリスク軽減や徘徊することでの見守りをすることが出来た。</p>

## 3 導入によって得られた効果

得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・超音波・赤外線コール（今回導入ロボット）を使用することによって、ベットから降りる人の動きに合わせてセンサー位置を決めることができ、かつマットと違い床面に段差がないため、足を上げて歩くことのできない利用者にとっては有効であり、転倒予防に効果的であった。</li> <li>・マットがないことによって、「マットを踏む」→「職員が駆け付ける」ことを嫌う利用者がマットを避けて無理な態勢でベッドを降りることが無くなり、ベッド上からの転倒負傷事例が解消された。</li> <li>・ベットからの転倒防止は、転倒→骨折→ADLの低下→認知症の更なる悪化を防ぐことになる。</li> </ul>
介護ロボット導入について介護士等の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マットだと、踏むと音楽が鳴ることに気付き、マットをまたぐ利用者さんがいたため、そうした方に有効であった。</li> <li>・起きてからの動きの早い方に使用したが、夜間も見守ることができ転倒を防ぐことができた。</li> <li>・寝返りをした際や風でカーテンが動いただけで反応してしまい、設置場所に苦慮した。</li> </ul>

## 4 介護ロボットに関する問い合わせ先

施設名	土岐市老人保健施設やすらぎ
電話	0572-55-2111 内 2661
Email	toki.yasuragi.@gfkosei.or.jp
担当者氏名	下村香澄